

～参加の手引き～

当日のながれ

① 車両の駐車・PIT使用



参加者用ピットエリアを準備しております。当日指定されたPITをご利用ください。
原則 1 PITに 2 台での使用となりますので、一緒になった方とうまく譲り合ってください。

② 参加受付



ドライバーズサロンにて参加受付を行ってください。
捺印をされた参加受理書をご持参ください。
当日のゼッケンや計測器などをお渡しいたします。

③ プリーフィング



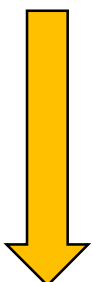
当日のスケジュールのながれ、走行の注意事項などをご説明いたします。また、アドバイザーから走行に関するアドバイスをいただきます。

④ 車両と装備のチェック



ご自身の走行時間に合わせ、車両の最終チェックをしていただき、走行準備をお願いします。

⑤ 1 本目走行（20 分間）



最初の 2 周はアドバイザーによる先導走行となります。
スタッフの誘導に従い先導車の後方に整列してください。
1 列になって、アドバイザーが走行するラインをなぞりながら、安全に速く走るラインを覚えませう。
また、コースレイアウトなどもここで確認してください。
2 周走行したら先導車に続いて全員ピットインします。
その後はチェッカーが出るまでフリー走行となります。

⑥ 1 本目が終わったら



走行は 2 グループに分けて走行いたしますので、次のグループが走行している時間は休憩となります。
走行を振り返りながらも、再度マシンチェックをしておいてください。

⑦ 2 本目走行（20 分間）



2 本目は最初からフリー走行となります。

⑧ 2 本目が終わったら



アドバイザーがピットを巡回いたしますので、質問などありましたらお気軽にお声がけください。

⑨ 全員の走行が終わったら



ドライバーズサロン内ミーティングルームで終了ミーティングを行います。
アドバイザーからその日の総評とアドバイスをいただき終了となります。
終了ミーティング時に計測結果をお配りいたします。また、貸出を行った計測器の返却とアンケートの回収を行いますのでご持参ください。

ご参加にあたって

- イベントでのサーキット走行をご利用頂くにあたって、次の決まりがあります。

- ① 皆様が気持ちよくご利用頂ける様、サーキットスタッフの指示・指導には快く従って下さい。
- ② 1回の走行につき、1マシン・1ドライバーです。
1回の走行中、マシンチェンジや運転者の交代を行う事は出来ません。
- ③ 先導走行を除くフリー走行では同乗走行はできません。
- ④ アルコールや薬物などを使用しての走行は禁止となります。

サーキットでのマナー

- 喫煙

喫煙は指定看板、指定灰皿が設置されている指定の喫煙エリアでのみ可能となります。

Aパドック・ピット内では絶対に喫煙しないでください。

- Aパドック・ピット

すべて火気厳禁となっております。

火花が発生する作業や暖房器具の使用は不可となります。

また、盲導犬・聴導犬・介助犬など、障害のある方を助ける仕事をする補助犬を除くペットの持ち込みは禁止となります。

サーキットへはグループで

- サーキット走行はその性質上、危険が伴います

万一怪我をしてしまった時やマシントラブルに見舞われた時、クラッシュをしてしまった時に最低限帰りの手段を確保していただく意味でも、お一人ではなくお友達、ご家族、ショップのスタッフなどとお越しいただくことをお勧めします。※オートポリス周辺に公共交通機関はございません。

走行前の確認

- 走行する際には、次のことを習慣づけて下さい。

- ① 走行前、走行後の車両の点検・整備（ボルト類・足回り・ブレーキ類・オイル管理など）を確実に行ってください。
- ② 装備品に傷、破損などがないか確認を行ってください。

装備品

ヘルメット	JIS II 種規格、SNELL規格などの規格を通ったヘルメットをご使用ください。 万が一の火災などを考慮して4輪用ヘルメットの着用を推奨いたしますが、2輪用ヘルメットでもご走行いただけます。 フルフェイスタイプ・オープンフェイスタイプのヘルメットをご使用ください。 ※ 半キャップは使用できません。
	走行可_推奨 走行可 走行不可
	 
スーツ	長袖・長ズボンでの走行が可能です。 走行可 ツナギ 長袖長ズボン
シューズ	運転を妨げない範囲のスニーカーをご使用ください。 レーシングシューズのご使用を推奨します。 走行可 走行不可 レーシングシューズ/スニーカー サンダル 厚底
グローブ	レーシンググローブと同等に操作性に優れ、指がすべて保護される物をご使用ください。 走行可 走行不可 レーシンググローブ オープンフィンガーグローブ

- ① ヘルメットは製造後少なくとも5年以内のものをご使用ください。
- ② 一度大きな衝撃を受けたヘルメットは安全性が著しく低下するため使用できません。
- ③ ヘルメットなどの装備品にビデオカメラ（ウェアラブルカメラ）やインカムなどを取り付けることは禁止となります。
- ④ 装備品のレンタルは行っておりません。

車両の装備

● シートベルト

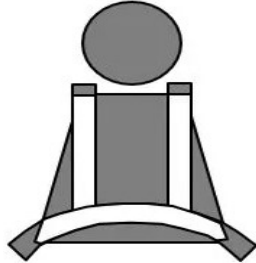
3点式シートベルトを装着してください。

4点式以上のフルハーネスタイプのシートベルトを装着することを推奨します。

走行可



走行可_推奨



● ヘッドライト / その他の灯火類

クラッシュや接触を起こしたときコースへの落下・飛散を防止するためにガラス製レンズの場合は車体に掛かるよう必ず点灯が確認できる程度にテーピングを施してください。

● ロールバー / ロールケージ

- ① クラッシュ時の安全性を高めるロールバー / ロールケージの取り付けを推奨いたします。
また、軽自動車については取り付けを強く推奨いたします。
- ② オープンカーで幌を開けて走行する場合、4点式以上のロールバーの取り付けが必要となります。

● 運転席の窓

走行中、運転席の窓は必ず閉めてください。開ける場合は5cm程度までにしてください。
但し、防護ネットが付いている車両は除きます。

● けん引フック

- ① 標準装備のけん引フックがエアロパーツなどにより使用できない車両は、外付けの牽引フックを取り付けてください。
- ② 脱着式けん引フックの車両は、牽引フックを車両の前後に装着することを強く推奨いたします。



メーカー純正品でも走行可



走行の注意

1. コースイン ～ 1 周目

1 周目からの全開走行はお控えください。

第 1 コーナーを通過するまでコース左端を追越禁止で通過してください。

遅れてコースインする際は、ストレートを走行してくる車両がないか、必ず後方の**安全確認**を行ってからコースインしてください。

2. ピットイン

ピットインする場合は、あらかじめ他の走行者に対し合図（ウインカー）を出してください。

合図を出す目安は、最終コーナー付近（17 番ポスト先）からです。

合図を出し徐々にスロー走行に入ります。この時、**コースの進行方向左端**を走行してください。

3. ピットロード

制限速度は 60 km/h となります。

4. ストレート走行

ストレートを走行する時は、ピットロードよりコースインしてくる車両と走行ラインが重なります。

コースインしてくる車両と走行ラインが重ならない事を確認し、ラインチェンジを行ってください。

5. 危険走行

故意のドリフト走行や、他の走行車両に対し危険と思われる走行は禁止です。

6. ショートカットコースの横断

ショートカットコースを使用し、**10 ポスト先から最終コーナーへ出る行為は禁止です。**

7. 黄旗区間でのスピン、コースアウト、追越し

黄旗が出ている区間での危険行為は、2 次事故防止のため禁止です。**必ず減速、追越禁止！**

8. コース復帰方法

コースアウトしグラベル内からコースへ復帰する場合、グリーン上をしばらく走行して車両についた砂利・泥を落としてからコースへ復帰してください。

トラブルへの対処

ドライバーが車両から降りなくてはならない場合、ご自身がいる場所は危険な場所であることを自覚してください。ご自身がミス（コースアウトなど）した場所は、他の方もミスをする可能性が高い場所です。

- ① コース内を走行中にスピンやオーバーランなどでストップした場合は、速やかに再スタートを試みてください。再スタートができない場合や様々なトラブルによって走行できなくなった場合は、**すぐに車両を降りて避難**してください。
- ② **避難をする時はコースに背を向けずに後方（後続車）を確認しながらガードレールの外側、またはコンクリートウォールの上まで避難をしてください。**
車両を離れる際はエンジンを停止し、鍵は抜かずに**コースとは反対側へ避難**してください。
（スマートキーなど鍵の抜き差しが必要ないタイプの場合は、なるべく車内に置いておいてください。）
可能な限り**コースと反対側のドアから避難**をしてください。
（コースと反対側のドアから避難するのに極端に時間を要する場合はこの限りではありません。）
ガードレールの外側に避難するまでは絶対にヘルメットは脱がないでください。
※ コンクリートウォールの上はレーシングコース内となるためヘルメットは脱がずにそのまま待機してください。
- ③ 避難完了後はレスキュースタッフが現場に到着するまで待機し、現場に到着したら指示に従ってください。
- ④ 車両トラブルなどによりエンジンが停止し惰性で動いている状態の場合、車両が完全に停止する前に**ガードレール付近などコースから離れた場所へ移動**してください。
※ 進行方向左側にサービスロード（レスキュー用通路）を設けております。トラブルなどで車両を停止させる場合、左側に停止するとレスキュー作業がスムーズに行えます。
※ ガードレールの開口部より車両をサービスロードに出すことができます。車両に余力が残っていればサービスロードに退出させてください。
なお、**ご自身でサービスロードに車両を退出させた場合は、走行終了の意思とみなし同じ時間内で再びコースインすることは出来ません。**

注意事項

- ① コース内での接触（走行車両同士）、クラッシュはともに各自の自己責任となります。
感情的に相手を非難したり、損害賠償を請求したりすることは出来ません。
- ② **コース内は一方通行**となります。逆走や後退は絶対に行わないでください。
ただし、危険回避のため短距離の逆走・後退・Uターンはこの限りではありません。
- ③ コース走行中は理由がない限り急激なライン変更は行わないでください。
- ④ 基本的にコース内ではスピードの速い車両が遅い車両に配慮するように心がけてください。
- ⑤ スポーツ走行中、セーフティーゾーンを含むコース内での車両修理作業は禁止となります。
- ⑥ ドライバーおよびその同伴者は走行に関して起こった事故やその処理によって生じた損害について、オートポリスの従業員またはその雇用者は一切の賠償責任を免除されていることをあらかじめご了承ください。
- ⑦ ドライバーは自己のピットクルーや家族・知人などの同伴者の行動に責任を持ち、危険な行動や場所に立ち入らないよう指導してください。
- ⑧ 車両トラブルによる留置きについての動向責任はオートポリス側には一切の責任は無いことをあらかじめご了承ください、必ずオートポリスまで届け出て許可を得てください。
- ⑨ 常にスポーツマンとしての態度を保ち、品格を疑われるような言動は慎んでください。

フラッグ規定 / デジタルフラッグ（ライトパネル）

スポーツ走行はポストからの信号旗（フラッグ）、デジタルフラッグ（ライトパネル）、メインシグナルによって合図が表示されます。

合図の無視・見落とし・認識不足は重大な事故につながりますので、**各合図の意味を十分に理解**し見落としのないよう注意してください。

フラッグやデジタルフラッグなどの種類や意味、表示方法などについては基本的に日本自動車連盟（JAF）および日本モーターサイクルスポーツ協会（MFJ）規定に準拠していますが、スポーツ走行ではJAF・MFJとフラッグの意味が多少異なることをあらかじめご了承ください。

デジタルフラッグ（ライトパネル）

① デジタルフラッグは主要コーナーに設置され、信号旗（フラッグ）と同じ意味で表示されます。

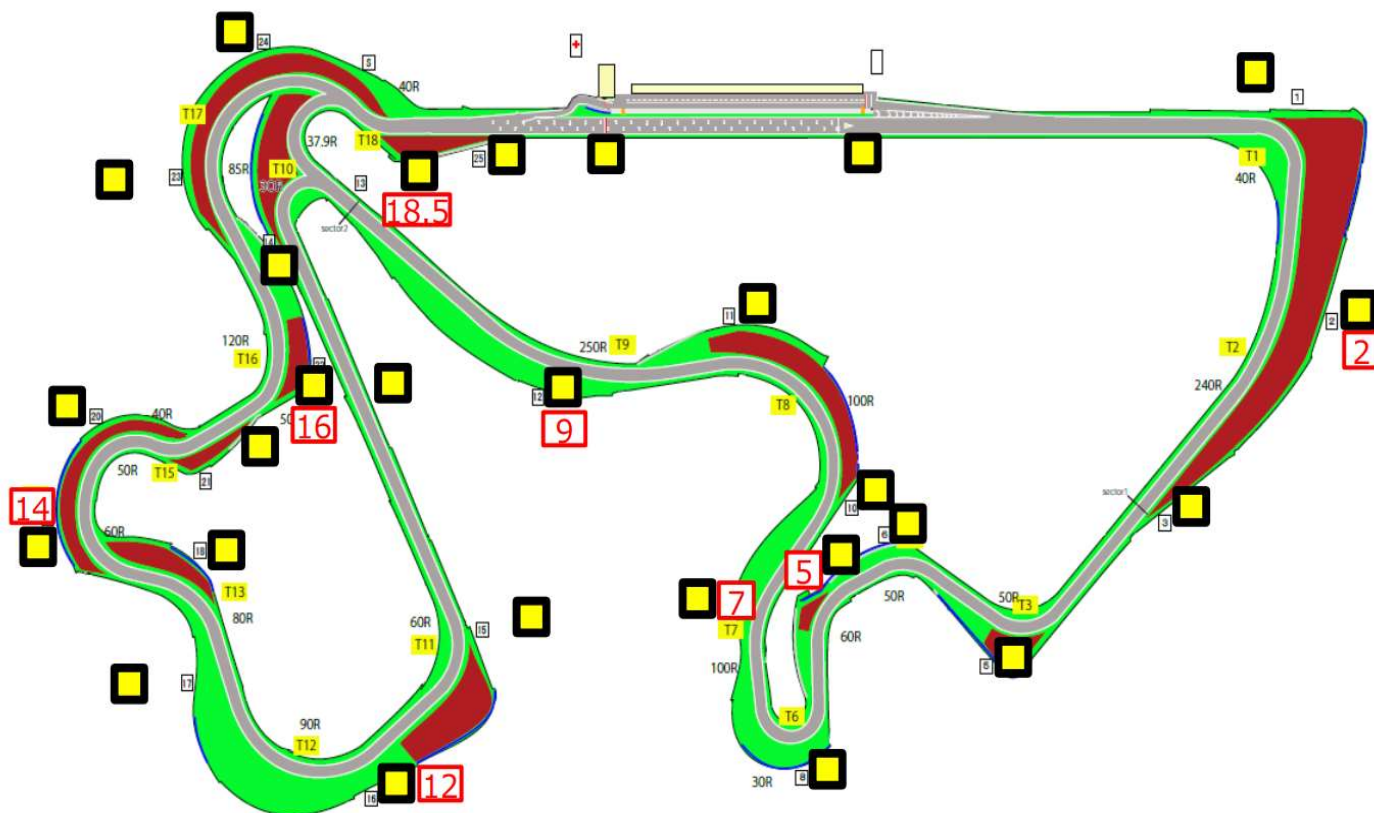
② **監視スタッフの配置がない無人ポストにおいても表示され、コース状況をお知らせいたします。**

信号旗と合わせて見落としがないよう注意してください。

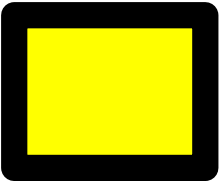
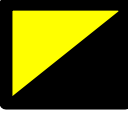
【デジタルフラッグ】



ライトパネル設置場所



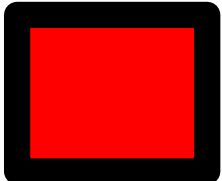
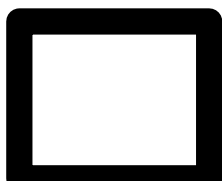
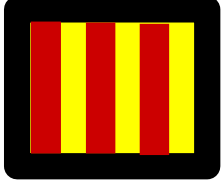
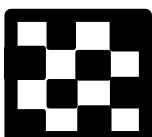
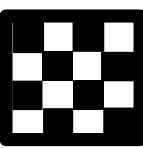
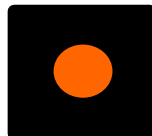
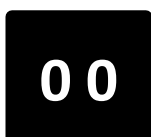
フラグー覧表

表示	表示	意味	とるべき行動とケース
緑（グリーンフラッグ） 	点滅	走行可能	走行開始後、全車2周目に入るか、3分間経過まで 点滅表示。 前ポストのフラッグ解除
黄（イエローフラッグ） 	点滅	前方に危険箇所あり	提示ポストの先のコース脇、あるいはコースの一部に危険な箇所がある。 ⇨減速・追越禁止
 	左右交互点灯	より危険な状況	提示ポストの先のコースを全面的、部分的に塞がれているような危険な箇所がある。 コースまたはコース脇でレスキュースタッフが作業中である。 ⇨減速・追越禁止・停止準備
黄色旗 	1本静止	走行終了	チェッカー後、各配置ポストより提示される。 ⇨減速・追越禁止

【黄旗（イエローフラッグ）区間の解除】



フラグー覧表

信号旗（フラッグ）	表示	意味	とるべき行動とケース
赤旗（レッドフラッグ） 	点滅	走行一時中断	赤旗が提示された周回でピットインする。 危険箇所でのトラブル、負傷者が発生した時に 提示され、走行は一時中断される。 ⇒減速、追越禁止、停止準備
白旗（ホワイトフラッグ） 	点滅	前方低速車両 あり	前方に低速走行車両がある。
オイル旗 	点灯	コース上が滑り やすい	コース上にオイル、水溜まり、飛散物などがあり 路面が滑りやすい状態である。
チェッカー※先頭車両からストレートのデジタルフラッグが点滅します。			
 	交互に点 滅	走行終了	走行終了となったことを示す。 ⇒減速、追い越し禁止 次周回でピットイン
青旗（ブルーフラッグ） 	点滅	速度の速い後続 車両が接近し、 追越そうしてい る	急激な進路変更はせず、そのままのペースで走行し 後続車両に進路を譲る。
オレンジディスク + ゼッケン  	交互に点 滅	当該車両に 機械的な 欠陥がある	旗を確認した周回でピットインする。 液体漏れなどがある場合は、グリーン奥の安全な 場所に停止する。
黒旗 + ゼッケン  	交互に点 滅	当該車両が ルール、マナー 違反をしている	旗を確認した周回でピットインする。 1 番ピット作業エリアで停止し係員の指示を受ける。

施設 / 設備の破損・消失・消耗について

サーキット内の各種機材・施設を破損または消失・消耗した場合、費用を **110,000円** を上限として
ご負担いただきます。(2025年4月現在 税込)

施設の破損とその標準価格 ※参考価格です。

ガードレール

◆ ガードレール交換	1 枚	44,000円 (税込) ~
◆ 支柱もどし	1 本	5,500円 (税込) ~
◆ 支柱交換	1 本	44,000円 (税込) ~
◆ ガードレール開口部交換	1 枚	16,500円 (税込) ~

セーフティーガード

◆ セーフティーガード	1 本	130,500円 (税込) ~
◆ カバーのみ	1 本	55,000円 (税込) ~
◆ ウレタンのみ	1 本	55,000円 (税込) ~

タイヤバリア

◆ タイヤバリア	1 カ所	110,000円 (税込) ~
◆ ベルト	1 枚 (10m)	110,000円 (税込) ~
◆ コンベアベルト簡易塗装	1 m	2,000円 (税込) ~

路面のオイル・クーラントなどの液体除去処理

◆ 処理の長さ	10m	5,500円 (税込) ~
---------	-----	---------------

路面の削れ

◆ 幅3cm、深さ1cm~2cm、長さ30cm 以内		33,000円 (税込) ~
----------------------------	--	----------------

消火器

◆ 粉消火器	1 本	11,000円 (税込)
◆ 泡消火器	1 本	22,000円 (税込)
◆ 二酸化炭素消火器	1 本	44,000円 (税込)

保険

スポーツ安全保険

障害内容	傷害保険金額		
	中学生以下	大人	65歳以上
死亡	2,000万円	2,000万円	600万円
後遺障害	3,000万円	3,000万円	900万円
入院	4,000円	4,000円	1,800円
通院	1,500円	1,500円	1,000円

- ※ 保険料は参加料に含まれています。
- ※ 死亡・後遺障害、または負傷による入院・通院をされた場合、規定に沿って保険料が給付されます。
詳しくは公益財団法人スポーツ安全協会 Web をご覧ください。
URL : <http://www.sportsanzen.org/>
- ※ オートポリス以外が主催するイベントにつきましては対象外となります。
- ※ 急性心不全、脳内出血などの突然死の場合は保険金が支払われません。
- ※ 転倒・事故により負傷した場合、必ずオートポリス メディカルセンターにて当日中に診察を受け、記録を残してください。この記録がない場合、保険の適用を受けることができません。

